

## 「領談」

本紙客員論説委員 下條正男



しもじょう・まさお 長野出身。国学院大学院博士課程修了。1999年から拓殖大教授を務め、今年3月末で退官。現在は本

紙客員論説委員、島根県立大と東海海洋研究所の客員教授。島根県の竹島問題研究会の座長を務めた竹島研究の第一人者。71歳。

韓国政府公式アカウントのツイッター画面。「旭日旗は憎悪の旗だ」と書かれている。2019年12月(共同)

「함께 외쳐주세요 #BanTheFlag」  
"옥일기는 증오의 깃발입니다."  
일본 내 혐한시위 등 '헤이트 스피치(혐오 발언)' 현장에서 사용되는 깃발입니다.  
세계 평화와 화합의 장인 올림픽에 옥일기가 응원기로 사용되어선 안됩니다.

### 옥일기는 증오의 깃발입니다



「首肯」したという。

#### ■太極旗は親日旗

三つ巴の太極旗は後に二つ巴の現在の太極旗となるが、82年、政治家の朴泳孝(パクヨウコ)らが朝鮮修信使として日本を訪れた際、一行が搭乗した明治丸には太極旗が掲げられていた。それには清朝からの自立の思いが込められていた。

日清戦争の結果、自主独立の国となった大韓帝国は97年、その象徴として清朝

## 旭日旗と東京五輪

# 歪んだ歴史認識ただせ

韓国政府は日本政府の提案を拒否する中で、竹島を日本の「朝鮮侵略の最初の犠牲の地」としたのである。以来、韓国では過去の清算を求め、日本側に謝罪と反省を求めることになるのである。旭日旗を戦犯旗とするのは、それに由来する。

### ■「両国同心の意」

これは竹島問題を解決しない限り、日韓関係はこのままだということだ。それも韓国側が歴史問題として騒ぎ立てる問題の多くは、歴史を正確に理解していない場合が多い。

徐氏は旭日旗を戦犯旗と批判するが、私の調査によると、韓国の国旗である太極旗は日章旗がその基にあった。太極旗は旭日旗と日章旗の親族である。

それも太極旗の誕生は、明治初期、外交官の宮本小一が朝鮮政府に対して、国家が自立するには国旗が必要と説いたのが、始まりである。日本統治時代の史学者、文一平は「太極旗の模様は宮本小一の提案」としている。

だが「太極旗」の素案は公使の花房義質のアイデアだった。1880年、清朝では朝鮮に対して、清国の龍旗を国旗とするよう求めた。そこで花房公使が81年に、「我国旗の日章に、仮に三巴を縫付た」国旗を試し、それを宮本が朝鮮に提案したのである。最初の太極旗は日章旗に三つ巴を縫い付けて「両国同心の意を表」し、「朝鮮の独立を標す」ものだった。それを見た朝鮮の大臣たちは皆、

後世の人間が、過去の歴史を忘れ、一方的に他者を非難すべきではない。島根県議会が「竹島の日」条例を制定したのは、その歪んだ歴史認識をただすためであった。それも日本政府ができないことだった。韓国では「歴史を忘れた民族に未来はない」という。それは日本も同じである。

■随時掲載■

新型コロナウイルス禍に開催された東京五輪だったが、大過なく閉幕した。思えば今回の五輪はエンブレムのデザイン問題に始まり、競技場の設計変更などさまざまな課題が露呈し、日本の衰退を思わせる出来事が続いた。そこにコロナが襲来し、国民は政府の危機管理能力の欠如を目の当たりにしてしまった。

今回の五輪は、これまでと異なる印象を人々に残した。その中でひときわ後味が悪いのが、国際社会における日本の価値や評判を下げようとする隣国の「ディスタウントジャパン運動」である。東京五輪の「聖火走路地図」には竹島(島根県隠岐の島町、韓国名・独島)が描かれているとして国際オリンピック委員会に抗議し、旭日旗のデザインに近い施設があると、それを大げさに騒ぎ立てた。当然、日本国内には嫌韓感情が高まった。走路地図の竹島を問題とし、旭日旗を戦犯旗として批判したのは韓国の広報専門家を称する徐敬徳氏である。徐氏はこれまでも竹島問題、慰安婦問題、日本海呼称問題などで世界を舞台に日本批判を続けてきた。

その遠因は1954年9月、竹島を武力占拠した韓国政府に対し、日本政府が国際司法裁判所に付託しようとする提案したことにある。